



PRESS RELEASE (2021/7/30)

女子高校生を対象とした理系インターンシップ制度「Quriesプログラム」を実施

九州大学では、大学進学前の優秀で意欲に溢れる女子高校生を対象として、本学の先端的な研究環境の一端に触れるのみならず、本学理系分野の教員をメンターとして刺激的な研究活動の体験の場を提供することで、学術研究の将来を担う優秀な若手理系女性研究者・技術者が多く排出されるよう、その支援を行うことを目的とした「Quriesプログラム」を実施します。

この活動を通じ本学は、広く女子高校生の理系分野への興味・関心を喚起するのみならず、学術研究の将来を担う優秀な若手理系女性研究者・技術者を育成し、九州から世界へ羽ばたく女性を一人でも多く輩出するよう支援して参ります。

【令和3年度本プログラムの概要】

- 受講生：46名（個人：35名、4グループ：11名）
 - 受入研究室：19研究室（工学部関連14、理学部関連4、農学部関連1）
 - 研究活動：令和3年8月16日（月）から20日（金）までの5日間で、研究活動時間は10時から17時までです。
- 本プロジェクトの受講生は、本学教員をメンターとした研究に取り組むこととします。

【本プログラムのスケジュール】

- 1日目：受入先研究室での研究内容等の確認（OJTを含む）、研究活動開始
 - 2～4日目：研究活動
 - 5日目：研究活動のまとめ、研究活動報告会（一同に実施（2～3時間程度））
 - 成果発表：令和3年10月頃を予定
- 九州大学主催の高大接続連携イベント等において、ポスター発表を行うこととします。



【取材について】

プログラム期間中の取材を8月18日（水）で予定しています。取材を希望する場合は、8月6日（金）13時までに広報室へメールで (koho@jimu.kyushu-u.ac.jp) ご連絡ください。こちらで指定した日時、研究室の場所等を後日ご連絡いたします。

- ※1 九州大学における新型コロナウイルス感染拡大防止については、「九州大学の行動指針」に基づき学内における行動等を制限することとしています。
- ※2 受講生は実施期間中、必ずマスクを着用した上で、定期的な手洗いや手指消毒、咳エチケット等を徹底することとしています。取材時も、感染対策にご協力ください。

【制度創設の背景】

我が国の女性の理系研究者・技術者の割合は依然として低い水準にあり、今後、本格的な人口減少社会を迎える中で、イノベーションの創出による社会の課題解決のためにも、女性研究者・技術者の活躍を推進することは急務です。しかし、その母集団となる女子学生、特に理工系分野を学ぶ女子学生の割合は諸外国に比べ未だ低い水準であり、大学進学前の女子生徒等に対する理工系分野に関する情報発信と、それによる進路選択の促進の必要性が指摘されてきました。

これに対し本学は、未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究・教育拠点となることを基本理念として、様々な施策を通じて男女共同参画及び国際的視点を含めたダイバーシティを尊重する教育・研究の推進を行ってきました。特に、本学の男女共同参画推進については、本学の元理事・副学長、元名誉教授である伊藤早苗氏（故人）には、男女共同参画推進室長として多大なご尽力を頂いた事に加え、ご遺族からの寄附により、令和元年度には伊藤早苗記念基金を創設し、女性研究者や女子大学院生の活動に対する支援を行っております。

伊藤早苗氏は、プラズマ乱流物理学の分野の第一人者として活躍され、仁科記念賞、日本 IBM 科学賞、Humboldt Research Award など多数の受賞があります。また、その卓越した研究を通じて本学では多数の学生・若手研究者の育成にもご尽力されました。こうした伊藤早苗氏の功績の上で、本学が氏の後を継ぐような優秀な女性の科学者・技術者の育成に尽力して欲しいと、ご遺族からの要望を受け、伊藤早苗記念基金の新たな事業として、女子高校生を対象とした理系インターンシップ制度を創設いたしました。

【本プログラムの詳細】

九州大学は新たに女子生徒を対象とした理系インターンシップ制度を創設し、初年次の令和3年度は試行的実施とし、福岡市近隣の高校で本学への入学者が多い3校（福岡県立福岡高校、修猷館高校、筑紫丘高校）の女子生徒を対象に実施をいたします。

本プログラムへ参加を希望する者は、個人のみならずグループでの参加を可能とし、本学が用意する研究テーマリスト（今回は理系学部等の32研究室（工学部関連26、理学部関連5、農学部関連1）のテーマリスト）から自分が取り組みたい研究分野・テーマを選択し、志望理由及び実施期間中の研究活動や指導を受けたい内容等を記載した申請書を提出することとしました。

なお、高等学校の理系のサークル・部活動などで研究テーマリストにない実施中の研究テーマがある場合は、そのテーマでの応募を可能とし、関連分野の本学教員の指導を受けられるよう、本学で調整することとしました。本年4月上旬に応募を開始したところ、福岡高校から個人10名、修猷館高校から個人16名、筑紫丘高校から個人9名、グループ4組の11名の応募があり、学内で審査の結果、試行的実施ということもあり、5月下旬に応募者全員を受講者として決定いたしました。

なお、本年度の試行的実施を踏まえ、令和4年度以降は福岡県内の高校へ対象を拡大していくことを予定しています。

（お問い合わせ）本プロジェクトに関すること 男女共同参画推進室 萩島副理事

TEL:092-583-7646

Mail: ayahagishima@kyudai.jp

人事部職員課 徳吉、横松

TEL:092-802-2260、2262

Mail: quries@jimu.kyushu-u.ac.jp